

あおもり市議会だより

ぎかいの森

令和元年第3回定例会の内容を
わかりやすく 市民の皆さんにお伝えします

Vol. **11**
令和元年11月

特

集

商店街振興組合

in あおもり

目次

| | |
|--------------|------|
| 特集 | P 2 |
| 議決した主な議案 | P 4 |
| こんなことを聞きました。 | P 6 |
| トピックス | P 16 |

写真：新町商店街振興組合前で

左から、同組合事務員の今智子さん、同組合事務局長の金浜隼さん

特

集

商店街振興組合

in あおもり

青森市には、旧青森地区は15の振興組合・商店会等が加入する青森商店街連盟が、旧浪岡地区には4つの商店会があり、商店街の活性化に向け、日々、活動を行っています。今回の特集記事のテーマは「商店街振興組合」ということで、これらの商店街の中から新町商店街振興組合の活動にスポットを当て、同組合事務局長の金浜隼さんに、商店街の現状や課題、今後について、さまざまなお話を伺ってきましたので、その内容をお届けします。

【議員】 本日はよろしくお願ひします。まずは自己紹介がてら、金浜さんについてお伺いしたいと思いますが、何がきっかけでここに勤めることになったのですか。

【金浜さん】 私は野辺地町出身で、

大学で青森に来たのですが、就職の際、大学の推薦で縁あってこちらで働くことになり、昨年からは事務局長をさせていただいています。

【議員】 事務局長として、今はどういった仕事をされているのですか。

【金浜さん】 簡単に言うと、商店街

の環境整備です。アーケードのメンテナンスですとか。あとはイベントの取りまとめ役ですね。

【議員】 振興組合としては、これまでどのような方向で取り組んできたのか教えてください。

【金浜さん】 新町商店街は、人と緑にやさしい街づくりをコンセプトに、どんな方でも安心・安全にお買い物を楽しんでいただけるまちを目指してきました。これまでは、どちらかといえば高齢者のお客様が多かったのですが、人口減少社会にあつてはファミリー層の取り込みが不可欠だと考え、最近では子どもたちが参加できるイベントをふやし、お父さんお母さんはもちろん、おじいちゃんおばあちゃんも一緒に来て楽しんでいただけるよう努力しています。

【議員】 ありがとうございます。それでは、今の仕事でやりがいを感じる



新町商店街振興組合でのインタビューの様子。

取材した議会広報広聴特別委員会委員と同組合の金浜事務局長(左から2人目)。

じるのはどういったときですか。

〔金浜さん〕 イベントで子どもたちが楽しんでる顔を見たときや、お店の方から販促イベントで売り上げが上がった話を聞くと、やっていてよかったなと思いますね。

〔議員〕 逆に、課題や悩みなどはありますか。

〔金浜さん〕 やはり一番の悩みは、どうしたらもっと商店街がにぎわうのかということですね。郊外のお店と戦うのではなく、郊外にはないよさを前面に出して、差別化を図っていければと考えています。

〔議員〕 最近ではインバウンドに伴う外国人観光客の増加や、駅前庁舎の移転などもありましたが、そのあたりの影響はどうですか。

〔金浜さん〕 クルーズ船はふえていきますよね。やはり船が入港した際は、飲食店や伝統工芸品などの店には多くの観光客が来ています。

また、駅前庁舎の移転は本当に

ありがたいです。市民課があるの
で市民の皆さんもたくさん来ます
し、駅前方面の通行量もふえまし
た。周囲の飲食店への影響も大き
いと思います。あとはそれをどう
回遊させるかが我々の課題ですね。

〔議員〕 最近新町にはお店もふえて
きていますよね。

〔金浜さん〕 実はうれしいことに、
近年は組合員数が増加しています。
新町通りは昔に比べてシャッター
がおりている店が多いと言われま
すが、そんなことはなく、逆に空
き店舗を探すのが難しい状況です。
ぜひ、商店街を散策していただき
たいです。

〔議員〕 最後に、議員や行政に対し
て言いたいことなどはありますか。
〔金浜さん〕 やはりアーケードの維
持です。増加しているとはいえ、
組合員数は当初から比べると半分



写真は本年8月25日に開催した「しんまちふれあい広場」の様子です。当日は新町通りが歩行者天国となり、多くの人でにぎわいました。ほかにも年間を通じてさまざまなイベントが行われていますので、皆さんもぜひ、いらしてみてください。

近くまで減っているの、組合費
だけで維持するのが難しくなっ
てきています。行政の力をおかし
ただけるととてもありがたいです。
〔議員〕 本日はお忙しい中、ありが
とうございました。我々も新町商
店街、応援しています。

青森市議会で

議決した主な議案です。

令和元年第3回定例会

会期30日間 8月29日～9月27日

第3回定例会で可決等した

議案・請願

市長提出議案31件中……………31件

(可決24件、認定3件、可決

及び認定1件、同意3件)

議員提出議案5件中……………5件

(可決)

請願1件中……………0件

(採択)

■以上の中から主なものをお知らせいたします。なお、全ての議案名と結果は、市議会ホームページで「ごらん」いただくか、議会事務局へお問い合わせください。

その1

令和元年度9月補正予算を

可決しました

今期定例会では、予算に関する議案として一般会計を初め計12件の補正予算案が提案されました。

一般会計補正予算案については、元気都市あおもり応援基金等への寄附金の積み立て等に要する経費（1億3千271万3千円）、国の交付金を活用したロータリー除雪機の購入経費（4千700万円）、障がい者支援関連事業等における利用者見込みの増に伴う扶助費（5億2千703万2千円）などについて補正を行うものとなっています。

市議会では、これら議案について全会一致で原案のとおり可決し、補正後の令和元年度青森市一般会計予算は、次のとおりとなりました。

令和元年度青森市一般会計

補正予算額 3億6千695万7千円

補正後の予算額

1千288億9千921万4千円

その2

平成30年度決算を

認定しました

今期定例会では、地方自治法の定めにより議会の認定に付さなければならぬ決算について、平成30年度一般会計・各特別会計決算を初め、各企業会計決算に係る議案が提案されました。

提出者からは、一般会計・特別会計全体の実質収支はいずれもプラスであったこと、病院事業会計では3億116万余円の純損失を計上し、資金不足比率は前年度より3.5%悪化の19.1%となったこと、水道事業会計では5億5千62万余円の純利益を計上したこと、自動車運送事業会計では5千971万余円の純損失を計上し、資金不足比率が2.6%発生したことなどそれぞれ説明がなされ、市議会では、これら議案について原案のとおり認定（水道事業会計の剰余金の処分については可決）しました。

その3

学校の統廃合に係る条例案を可決しました

●青森市立小学校条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では、奥内小学校、西田沢小学校、後潟小学校の複式学級の解消による学びの機会を確保するため、令和2年4月1日から3校を統合することとし、統合校の名称及び位置を定めるための条例案が提案されました。

なお、統合後の新たな小学校の名称は「青森市立北小学校」とし、位置については現在の奥内小学校の校舎を使用することから、現奥内小学校の所在地となっています。市議会では同議案について、全会一致で原案のとおり可決しました。



統合される西田沢小学校(上)と後潟小学校(下)

その4

急病センターの移転等に係る条例案を可決しました

●青森市急病センター条例の一部を改正する条例の制定について

今期定例会では、本年10月に青森市急病センターが市役所第3庁舎1階へ移転となるため、同センターの位置の変更等を行うための条例案が提案されました。

なお、同センターについては、移転に伴い、現在より約2・3倍の面積となり、これまで2室だった診察室が4室となったほか、プライバシーに配慮した授乳室の設置、感染診察室、多目的トイレ、超音波画像診断装置等の医療設備の新設等も行われています。市議会では同議案について、全会一致で原案のとおり可決しました。



広く明るい待合室になりました

その5

契約の締結に係る議案を可決しました

今期定例会では、条例により議会の議決が必要な予定価格1億5千万円以上の工事等に係る契約として、青森市役所旧庁舎解体工事の契約の締結に係る議案が提案されました。

解体を行うのは現在の青森市役所旧庁舎（第一庁舎、第二庁舎）及び急病センターとなっており、工期は契約締結の翌日から令和2年6月30日までとなっています。

市議会では同議案について、全会一致で原案のとおり可決しました。

青森市役所旧庁舎解体工事
契約金額

2億2千818万4千円



現在の市役所庁舎

質 問 ・ 質 疑

こんなことを
聞きました。

第3回定例会において行われた、一般質問、予算特別委員会及び決算特別委員会の質疑の中から、一議員につき一項目の質問・質疑及び答弁の要旨を掲載しています。

● 質問・質疑を行った議員・委員数

● 第3回定例会

| | |
|---------|-----|
| 一般質問 | 21名 |
| 予算特別委員会 | 18名 |
| 決算特別委員会 | 13名 |

※本会議での一般質問等の様子は、下のQRコードからアクセスできる議会中継でごらんいただけます。



防 災



洪水浸水想定区域の指定に伴う市の対応について

市民クラブ 秋村 光男
あきむら みつお

Q 水防法の改正に伴い、県が新たに洪水浸水想定区域を指定しましたが、市の対応をお示しくください。

A 平成27年の同法改正に伴い、県では洪水浸水想定区域を想定最大規模の降雨のものへ見直すこととし、平成30年度から令和2年度にかけて順次新たな区域を指定、公表する予定としています。このため、今後、市においても新たな区域を基準とした指定避難所等の見直しや、洪水ハザードマップの更新が必要となりますが、この更新については、全体が明らかになった段階で実施したいと考えています。

防 災



災害時受援計画策定に係る進捗状況について

市民クラブ 工藤 健
くどう けん

Q 災害直後には、マンパワーの早期確保がとても重要だと言われています。災害時の応援の受け入れを想定した体制を整備する災害時受援計画について、その策定に向けた進捗状況をお知らせください。

A 本市では、大規模災害時に他自治体や民間企業等からの支援を最大限活用し、災害応急対策や被災者支援等を迅速かつ的確に行うため、これまで「青森市災害時受援計画」の策定に取り組んできており、現在行っている関係各機関との調整を経て、本年9月中の策定を目的に作業を進めたいと考えています。

青色は、総務企画常任委員会に関連する質問・質疑です。

防 災

を初め、自衛隊や警察等の関係機関が参加して連絡体制を確認するなど、実効性の高い訓練を行っています。



今年度総合防災訓練での災害対策本部運営訓練の様子

A

市では毎年、防災月間である9月に青森市総合防災訓練として、災害発生状況に応じた災害対策本部の運営訓練や避難所開設運営訓練を実施していますが、このうち災害対策本部運営訓練では、災害対策本部長である市長

Q

災害発生時に市が立ち上げる災害対策本部は、市民の命を守る中核となりますが、その運営を行う職員に対してどのような訓練をしているのかお示しください。



災害対策本部の担当職員への研修について

公明党 軽米 智雅子
かみあき ちあきこ

庁 舎

アウガは、これまで同規約に基づき管理を行ってきたおり、市がアウガの管理者の役割を引き継ぐに当たってもその性格は変わらないものであることから、現時点で同規約を見直す考えはありません。

A

アウガの地権者への地代の算定には平成13年当時から1平米当たり71万円が使われており、これは現在の地価の約7倍に相当し、高額であるため算定し直さなければならず、この地代を定めているアウガ管理規約も変更しなければならぬと考えますが、市の見解をお示しください。

Q



アウガ管理規約の変更について

市民の声あおもり 中村 美津緒
なかむら みつお

公 用 車

ら検討してまいります。市営バスへの導入についても、経営状況を踏まえながら検討してまいります。

A

ドライブレコーダーの重要性が近年高まっていますが、不測の事態に備えるとともに、運転する市職員の環境整備を図る観点からも、公用車及び市営バスに計画的に導入すべきと考えますが、市及び市交通部の認識をお示しください。

Q



公用車等へのドライブレコーダーの導入について

自民・志政会 館山 善也
たかやま ぜんや



駅前庁舎に配置されている公用車

市民生活

市では、実際に店舗でデモンストラーションを実施するなどし、広くPRに努める予定としています。



Q マイナンバーカードの交付率アップのため、市が来年2月から開始予定のコンビニ交付サービスの内容について示してください。

A 当該サービスは、マイナンバーカードの使用により全国のコンビニエンスストア等で住民票の写し、印鑑登録証明書、各種税証明書、戸籍証明書、戸籍の附票の写しの交付が可能となるものですが、これら全てが交付対象となるサービスの実施は県内初となっています。



住民票の写し等のコンビニ交付サービスについて

市民クラブ 竹山 美虎

予算決算

A 平成30年度の一般会計、特別会計を合わせた不納欠損額は、4億9千24万5千996円でした。市では、必要な対策をとらないまま回収可能な債権が時効完成となることのないよう、青森市収納対策本部において債権別の管理事務スキーム等に基づく適正な事務の執行と関係部局間の連携を図っており、今後とも適正な債権管理を行い未収債権の回収に努めてまいります。

Q 平成30年度における一般会計及び特別会計に計上された不納欠損額の総額及び不納欠損に対する市の取り組みについてお示しください。



不納欠損に対する市の取り組みについて

自民・志政会 丸野 達夫

税

A 当該寄附金の今後の見込み額については、今年度から受付ポータルサイトを2つにふやしたことで、法改正により寄附金額の設定を変更するなど、昨年度と状況が異なるため推計は困難ですが、これから主力のリンゴや新米の季節を迎え、例年、年末に向けて寄附がふえることから、昨年度実績を上回ることを目指しています。今後も、事業者の皆様とともに、進呈品の充実やPRに努めてまいります。

Q 青森市ふるさと応援寄附制度による今年度の寄附金の見込み額と、その根拠をお示しください。



青森市ふるさと応援寄附制度について

公明党 渡部 伸広



霊園

去し、かわりに供花等を捨てられる草花置き場を設置したものです。



Q 三内霊園のごみ箱が撤去されたとのことですが、高齢者など、バスで来てごみの持ち帰りが困難な人もいると思います。撤去した経緯についてお示しください。

A 市営霊園・墓園で発生するごみは減少傾向にあるものの、園内にごみ箱があることで供物の持ち帰りが徹底されず、カラスなどによるごみの散乱や悪臭の発生等の原因にもなっており、供物の持ち帰りを徹底していくため、本年9月から市営霊園・墓園内のごみ箱を撤去し、かわりに供花等を捨てられる草花置き場を設置したものです。



市営霊園・墓園のごみ箱の撤去について

市民の声あおもり

藤田 誠

霊園

市で撤去する原状復旧工事を順次行い、更地に戻した上で市民等に再提供しています。

Q 市営霊園・墓園において、使用権者が死亡し承継人がいない場合の取り扱いについてお示しください。

A 市営霊園・墓園の使用権者が死亡し承継人がいない場合については、条例により、一定の年数が経過したものは使用権が消滅することとなります。使用権が消滅した埋葬場所は、法令により官報等により改葬する旨を公告し、1年経過した後、市が改葬を行うこととなります。また、墓石等についても、



承継人がいないお墓の取り扱いについて

市民クラブ

奈良 祥孝

観光

ラムの企画等に2千335万4千円の予算を計上し、観光PRに取り組んでいます。



Q 本市を訪れる外国人観光客が今非常に多くなっていますが、観光PRに係る市の予算額及びその内容についてお示しください。

A 市では、観光客等の誘客促進に当たり、本市を訪れたい方の来訪意欲の向上等を図る観点から、今年度、首都圏等を対象としたプロモーション活動に170万円、クルーズ客船の誘致等に620万円、WiFiや観光アプリ等のサービス提供に425万8千円、訪日外国人向け体験型滞在プログラムの企画等に2千335万4千円の予算を計上し、観光PRに取り組んでいます。



観光PRに係る市の取り組みについて

自民・志政会

里村 誠悦

スポーツ

利用できることから、利活用は非常に難しいと考え、県に対して利活用しない旨を回答したものです。



旧県陸上競技場がある
安田地区の県総合運動公園

Q 安田地区の旧県陸上競技場は、交通の便等がよいことから複数のスポーツ関係者等から活用を求める声が上がっていますが、市が利活用する考えはあるのか伺います。

A

同競技場の利活用については、県から本市に意向確認がありました。が、市では、施設管理に係る人件費、光熱水費等の新たな財政負担が見込まれること、メインスタンドを含む管理棟部分は竣工から53年が経過し設備等の改修も想定されることから、



旧県陸上競技場の
利活用について

自由民主党
おおや
大矢 保

教育

A 市教育委員会では、各小・中学校のパソコン教室における2 in 1型パソコン及びWi-Fi環境の更新を11月上旬までに行うこととしており、合わせて可搬型の無線アクセスポイントも整備するため、パソコンを普通教室等に持ち出して使うことも可能となり、理科、算数・数学などの授業のほか、特別支援の現場においても活用していきたいと考えています。

Q 市教育委員会が現在配備を進めている2 in 1型パソコン及びWi-Fi環境について、今後の予定と活用方法をお示しください。



小・中学校へのWi-Fi
環境等の整備について

自民・志政会
なかむら
中村 節雄

教育

A 市教育委員会では、同センター駐車場には舗装部分が剥げ、凹凸が生じている箇所、ラインが消えかかっている箇所があることは把握しています。このため、駐車場利用者の利便性や安全性を考慮し、平成30年5月に駐車スペースの境目がわかるように目印をつけたところですが、舗装部分の補修やラインの引き直しについては現在検討しているところです。



雨天時の西部市民センター駐車場

Q 西部市民センターの駐車場は、舗装が剥げ、ラインも消えている状況が続いていますが、市は現状を把握しているのかお示しください。



西部市民センター
駐車場の
舗装について

自民・志政会
きと
木戸 喜美男

教育

A 市内小・中学校においては、草刈り機の使用により小石が飛ぶなど、児童・生徒や近隣に危険が生じる場合に学校長の判断で除草剤を使用していますが、お尋ねの除草剤については小学校5校、中学校5校で使用しているところ です。

Q 国際がん研究機関IARCは、ラウンドアップという除草剤に含まれる化学物質、グリホサートが人に対して恐らく発がん性があると結論づけており、世界各国でグリホサートの使用が禁止されていますが、市内小・中学校における除草剤の使用実態をお示しく ださい。



日本共産党
村川 みどり

小・中学校における除草剤の使用実態について

教育

A 本調査における本市の英語の結果は、平均正答率が57%で、全国平均を1ポイント、県平均を2ポイント上回っていますが、自分の考えを英語で記述する問題の正答率が低いなどの新たな課題も明らかとなったことから、今後、調査結果の詳細な分析等を行うことで教員の指導力を高め、本市の英語力向上に努めてまいります。

Q 平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査では、新たに中学3年生の学習調査に英語が加えられました。本市の結果と、その対策についてお示しく ださい。



市民の声あおもり
奈良岡 隆

全国学力・学習状況調査の結果について

空き家対策

A 同計画については、現在他都市の計画の分析などの基礎調査や課題の整理等を行っており、今後、計画の骨子を整理した上で計画の素案を作成することとしています。具体的な策定時期については、お示しできる段階にはありません。

Q 空家対策特別措置法は、平成26年の制定から5年が経過しています。同法の規定による空家等対策計画がなければ特定空家等の判断ができず、行政が必要な措置を講ずることもできないため、早期に同計画を策定すべきと考えますが、市の見解をお示しく ださい。



市民クラブ
木下 靖

空家等対策計画の策定について

橙色は、都市建設常任委員会に関連する質問・質疑です。

交通



市営バスへのドライブレコーダーの設置について

公明党 赤木 長義

Q 市営バスを利用する全ての市民の安全・安心を担保するため、市営バスにドライブレコーダーを設置すべきと思いますが、市交通部の考えをお示しく下さい。

A 路線バスに搭載されるドライブレコーダーは、車外の映像に加え車内の様子なども記録できるため、交通トラブルの対策強化や車内の防犯性の向上、サービスの改善などの効果が期待されるものと認識していますが、その設置には多額の費用を要することから、経営状況等を踏まえながら検討してまいりたいと考えています。

ごみ処理



産業廃棄物の不法投棄について

日本共産党 藤原 浩平

Q 市内の食品加工業者が排出した野菜くずを自社所有地に運搬、保管していた情報について、この業者は一時保管と言っていますが、保管場所を示す看板や囲い等は設置されていたのか、また、産業廃棄物を運搬する車であることの表示は行っていたのかお尋ねします。

A 本件においては、法令により定められている産業廃棄物の保管場所を示す看板や囲いの設置、また、産業廃棄物運搬車であることの表示のいずれについても対応はなされておらず、この点は法令に即していなかったと考えています。

福祉



プレミアム付商品券事業の周知について

無所属 山崎 翔一

Q 今回のプレミアム付商品券事業は、現在の申請割合が3割程度とのことですが、当該事業の周知に対する取り組みをお示しく下さい。

A 当該事業の実施のお知らせや商品券購入引換券の交付申請方法等については、市では、「広報あおもり」で、実行委員会では新聞やホームページで周知を図っているほか、国においても新聞、テレビ等での広告に加え専用ホームページにおいて制度の周知、申請の促進を図っていると伺います。今後も申請漏れがないよう、さらなる周知を図ることとしています。



福祉



障がい者に対する 相談支援業務について

自由民主党 中田 靖人
なかつた やすひと

Q 現在、市には障がいのある人に対する相談支援業務を市からの委託により行っている5カ所の指定相談支援事業所のほか、その後の法改正により指定した28の事業所があります。現場においては市が把握していない課題等もあるため、全ての事業所に対しアンケートを実施する考えはないか、市の見解をお示しくください。

A 市では、相談支援体制の検証に当たり、全ての事業所からの意見聴取が大事と考えており、今後、アンケート調査や聞き取りなどを実施してまいりたいと考えています。

福祉



手話言語条例について

日本共産党 万徳 なお子
まんたく なおこ

Q 市では現在、(仮称)青森市手話言語の普及及び多様な意思疎通の促進に関する条例の制定に向け動き出しています。障がい者にとっても市民にとってもよい条例が制定されることを願っていますが、市が条例案を議会へ提案するまでのスケジュールをお示しくください。

A 本条例案については、パブリックコメントにおいて寄せられた御意見等を踏まえて原案を作成し、障害者団体等との意見交換、市健康福祉審議会の専門分科会での審議を経た後、本年第4回市議会定例会へ提案する予定としています。

福祉



放課後児童会への エアコンの設置について

自由民主党 小豆畑 緑
あずはた みどり

Q 放課後児童会は夏休み期間中であつても連日多くの子どもたちに利用されているため、エアコンが設置されていない放課後児童会にエアコンを設置するべきと考えますが、市の見解をお示しくください。

A エアコンが設置されていない放課後児童会の開設場所の多くは小学校の余裕教室であり、現在の教室を長期的に使用できるとは言えないことから、エアコンが設置されていないところへの新たな設置は困難なため、引き続き扇風機の増設等を行うなど、暑さ対策に取り組んでまいります。

福祉



保育士の加配基準の見直しについて

日本共産党
赤平 勇人

Q ふれあい保育事業では、保育士の加配基準が対象児童3人につき1人となっており、実態と見合っていないため、多くの自治体のように2人につき1人や、1人につき1人に引き上げるべきだと思いますが、市の考えをお示しくください。

A 仮に当該事業の加配基準を引き上げた場合、必要となる保育士数が増加することとなり、保育士が確保できない施設においては結果として受け入れ人数を減らさざるを得なくなることから、市では、現在の基準は適正であると認識しています。

福祉



高額介護サービス費支給に係る制度概要について

無所属
橋本 尚美

Q 高額介護サービス費の支給について、もっとわかりやすい内容で情報提供が必要と思いますが、当該制度の概要と、支給を受けるための手続をお示しくください。

A 当該制度は、要介護者が1カ月に受けた介護サービスに要した負担額が一定の限度額を超えた場合、超えた分を申請により払い戻す制度です。市では支給対象者に制度のお知らせと支給申請書を送付しており、初回該当時に窓口または郵送で一度申請を行えば、次回以降は指定口座に自動的に振り込まれることとなります。



保健医療



受動喫煙防止に向けた条例の制定について

市民の声あおもり
蛭名 和子

Q 受動喫煙対策を強化する改正健康増進法の来年4月の全面施行に向け、新町通りなど大勢の方が往来する場所を特定し、受動喫煙を防止する条例を制定する考えはないか、市の見解をお示しくください。

A 市では、青森市たばこの健康被害防止対策ガイドラインにより、屋外でも多くの人が集まる場所は全面禁煙を推奨し、周知啓発しているところであり、今後は、まずは改正法に基づき多数の方が利用する施設での望まない受動喫煙がなくなるよう、さらなる周知啓発に努めてまいりたいと考えています。

保健医療

A 市では、たばこの煙にさらされない社会の構築のため平成25年に策定した青森市たばこの健康被害防止対策ガイドラインに基づき、これまで積極的に店内禁煙に取り組む飲食店を市ホームページで公開するなど、受動喫煙防止の取り組みを進めてきており、望まない受動喫煙防止に向けた改正法の内容についても、関係団体との連携等により普及啓発を行っています。

Q 健康増進法の一部を改正する法律が来年4月に全面施行となりますが、本市の受動喫煙防止に向けた取り組みをお示しくください。



受動喫煙防止対策

について

自由民主党

山本

治男

保健医療

A 市では、同ワクチンの接種について、対象者が判断し選択できる情報提供は必要と認識してはいますが、積極的勧奨と受け取られることのないような配慮も必要となるため、国の動向を注視しながらその方法について考えてまいります。

Q HPVワクチンについては、平成25年6月から国により積極的勧奨が差し控えられていますが、定期接種としての位置づけには変わりありません。対象者となる方に個別通知によりきちんとした情報提供を行う必要があると考えますが、市の見解をお示しくください。



HPV(子宮頸がん)

ワクチンについて

公明党

山本

武朝

病院

A 現在、浪岡病院の小児科は、平成29年3月に常勤医師が退職したため、弘前大学から派遣された非常勤医師が週2、3日外来診療を行っています。医師不足については県全体の問題でもあり、県や弘前大学においてもその解消に向けた医師確保対策を行っていますが、市としては、引き続き弘前大学に対し要望活動を行ってまいります。

Q 浪岡病院の小児科の医師は、現在非常勤の方であり、地域住民からは常勤の小児科の医師を配置してほしいとの声がありますが、配置の見通しをお示しくください。



浪岡病院の小児科医師について

日本共産党

天内

慎也



青森市立浪岡病院

常任委員会の視察結果を報告します

市議会では市政の課題や先進事例の調査を行うため、他自治体への行政視察を行っています。このうち、各常任委員会が行った視察について、その結果を報告します。なお、今年度から市議会ホームページでも視察先等の概要を掲載していますので、ぜひご覧ください。



行政視察報告へのQRコードです。

総務企画常任委員会 (7月24日～26日)



静岡県静岡市
モバイルレジを活用した市
税等のクレジットカード納
付について (7月25日)

千葉県船橋市
緊急通報システムNet119
及び119番多言語電話通訳
について (7月26日)



文教経済常任委員会 (7月22日～24日)



大阪府貝塚市
廃校の活用について
(7月23日)

奈良県奈良市
コミュニティ・スクールの
仕組みを生かした地域連携
について (7月24日)



都市建設常任委員会 (10月7日～9日)



宮崎県宮崎市
アリーナ基本構想について
(10月8日)

宮崎県延岡市
協働・共汗道づくり事業及
び協働・共汗公園づくり事
業について (10月9日)



民生環境常任委員会 (10月7日～9日)



埼玉県熊谷市
子育て世代包括支援センタ
ーについて (10月8日)

山梨県甲府市
ごみ減量対策について
(10月9日)



傍聴者の声から

令和元年第3回定例会の傍聴者数は**66人**でした。傍聴された方から寄せられた御意見等を御紹介します。

- 初めての傍聴でしたが事務局担当者の対応がとても親切で感謝申し上げます。
- 質問時間をいっぱい使っていて職務に対する熱意が感じられた。
- 高齢者のバス利用の利便性やその取り組みをただすなど、免許返納した者のこれからの生活に少なからず希望が見えました。理事者の取り組みを期待します。

編集後記

委員 山本 治男

昨年優秀賞を受賞した中核市議会議長会の議会報コンクール、残念ながら2年連続での受賞とはなりませんでしたが、審査員からは「非常に読みやすい」との講評をいただきました。今後も市民の皆様に、よりわかりやすい市議会だよりを目指し、今以上に充実した内容となるよう、委員一同、一所懸命頑張っております。

令和元年第4回定例会は11月28日開会の予定です。